

国際シンポジウム

環境と健康と 科学コミュニケーション



2014年11月17日(月)

13:30~17:00(13:00開場)

北海道大学 学術交流会館 小講堂

参加費
無料

内容

科学コミュニケーションとは、科学をめぐって研究者や一般の方々を含むさまざまな立場の人が対話することです。

近年の環境変化が人々、特に子どもの健康に与える影響を題材とした講演を行います。持続可能な社会にむけた、教育や科学コミュニケーションにおける課題について、諸外国の事例も交えてみなさまの知識を深め、ディスカッションを実施します。

司会

山内 太郎 (北海道大学大学院 保健科学研究院・環境健康科学研究教育センター兼務)

田中 俊逸 (北海道大学大学院 地球環境科学研究院・環境健康科学研究教育センター兼務)

講演およびパネルディスカッション(日英同時通訳)

1. 「科学コミュニケーションの話始める前に～これだけは押さえておきたい三つの視座～」

三上 直之 (北海道大学 高等教育推進機構・環境健康科学研究教育センター兼務)

2. 「子ども・社会がより健康になるための、韓国におけるリスクコミュニケーション戦略」

Jonghan Leem (Department of Occupational & Environmental Medicine, Inha University Hospital, Korea)

3. 「北海道に住む人々のよりよい生活環境を目指して～北海道スタディの成果から～」

伊藤 佐智子 (北海道大学 環境健康科学研究教育センター)

4. 「科学コミュニケーションの技術:子宮頸癌ワクチンの受容が、英国・豪州・日本で異なるのは何故か」

Sharon J. B. Hanley (北海道大学大学院 医学研究科・環境健康科学研究教育センター兼務)

5. 「受け手からみた健康研究と成果発信～市民やジャーナリズムの視点から」

大島 寿美子 (北星学園大学文学部 心理・応用コミュニケーション学科)

申し込み・問い合わせ

北海道大学 環境健康科学研究教育センター

TEL 011-706-4746 FAX 011-706-4725

E-mail info@cehs.hokudai.ac.jp

URL <http://sustain.oia.hokudai.ac.jp/sw/jp/>

担当: 荒木・高橋

申し込みはTEL・FAX・E-mail又は、上記URLの「参加申し込み」まで。
当日参加も受け付けます。

会場



主催 北海道大学 環境健康科学研究教育センター

共催 北海道大学大学院 保健科学研究院・医学研究科・地球環境科学研究院

後援 北海道・北海道教育委員会・札幌市・札幌市教育委員会・環境省北海道地方事務局